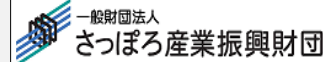


中西アドバイザーの台湾便り

Vol. 37 2021年5月

※無断転載を禁じます。



◆ Tsutaya & Tarami コラボレーション ◆

- ・台湾で6店舗を展開する『Tsutaya Bookstore』が『たらみ』とのコラボをスタート。
- ・店舗併設のカフェ『Wired Cafe』にて『たらみ』商材をベースとしたドリンク & スイーツスペシャルメニューを提供。
- ・メニューは『Wired Cafe Tokyo』オリジナルとして『ワッフルとどっさりミックスのヨーグルトアイス』(190元:約722円)や『三角デニッシュフレンチトーストとどっさりミックスのヨーグルトアイス』(260元:約988円)等の『たらみどっさりシリーズ』をふんだんに使用したメニューとなっている。(台北時事通信)



小売りのフルーツゼリーとして親しまれている『Tarami』ブランドのゼリーがTsutaya Wired カフェとコラボし、Taramiフルーツゼリーを使用したメニューを考案、展開したのは初めてとの事。B to C商材をB to B商材に変化させるのは非常に面白い手法であり、市場規模としてもB to Bが大きい台湾においては、B to Cでの展開だけではなく、業務用商材として商品を見直してみるのも一考の余地があると思われます。



◆ 京都のポップアップ店が期間限定でオープン ◆

- ・京都銘菓のポップアップストア『京都銘菓』が8月末まで信義区の新光三越A8館地下2Fにオープン。
- ・同店は京都総合商社『谷商店』の台湾現地関連会社『活力京都』が期間限定でオープン。
- ・源氏物語ゆかりの『宇治式部郷』のあられ、創業1864年『伊藤軒』のどらやき、『クロシェ』の京飴、北山マールブランシェの濃茶ラングドシャ『茶の菓』、祇園辻利の『おたべ』等を今後更に入荷予定。

(台北時事)



京都の銘品を集めてポップアップストアとして話題を集めている。従来は1社ごとに台湾進出を検討するのが通常パターンであったが、老舗商品を集合させることにより、目新しさもあり、北山マールブランシェの濃茶ラングドシャ『茶の菓』は6個入り250元(約950円)とかなり高額ではあるが、母の日ギフトとして消化も上々との事。又、子供用商材としてボーロ商品がかなり消化が良いとの事で、赤ちゃん用商材も見逃せないと思います。



◆忠孝そごう春祭 日本展開催◆

・台北信義新天地忠孝そごうA11にて4月29日～5月12日まで『春祭 日本展』が開催された。

・もともと2018年度を最後に春季日本展は開催されておらず、当時は来客数、売り上げ共にかなり低迷していたとの事。

・関係者によると今回の人出はピーク時の2013年～16年当時に匹敵する来客数となっており、かなりの売り上げ増が見込まれるとの事。

・人気ブースは特に日本酒、フルーツ酒(梅酒、柚子酒等)、沖縄から出店していたお酒のソフトクリーム、函館 Mel Cheese、大分由布院ミルヒプディング、チーズケーキ等に行列が出来ていた。
(中西独自取材)



3年ぶりとなった忠孝そごうの日本展は期間中3回訪問したが、平日でもかなりの人出があり、やはり日本への渡航が出来ない中でのストレスが日本物産への購買に繋がっている感を強くした。実際、百貨店、モールからのポップアップショップ出店候補はいないか、の問い合わせも多く、物産販売は今がチャンスではないか、と思われれます。